

「思考力や想像力を働かせながら読む」「ワークシート」「少年の日の思い出」

記入例

学習日 年 月 日  
組 番

登場人物の心情を読み取る

の場面を読んで、次の手順で「僕」の心情を読み取る。

- 〔手順〕
- (1) 「僕」の心情の変化が分かる表現に蛍光ペンで印を付ける。
  - (2) 印を付けた記述を基に、「宝を手に入れる」までの「僕」の心情を考えて書く。
  - (3) 印を付けた記述を基に、「盗みを犯した」後の「僕」の心情を考えて書く。
  - (4) 「僕」の心情の変化を矢印と線で表す。(心情曲線を書く。)



の場面

表現の特徴や表現の工夫を気付いたら書きとめておこう。

心情曲線をワークシートの真ん中から始めると、盗みを自覚したあとの不安や後悔などの気持ちの落ち込みが表しやすくなります。

クジャクヤママユ(宝)を「手に入れるまで」と「手に入れた後」に分けて、印を付けた記述を基に、「僕」の心情を想像して書いてみよう。

「僕」の心情  
僕は、クジャクヤママユがとうしても見たかったんだ。あの斑点に見つめられたとき、どうしても欲しくなってしまうって、盗んでしまった。そのときは、宝を手に入れたという満ち足りた気持ちでいっぱい、他に何も考えられなかったよ。

「宝を手に入れた」

大きな満足感

「盗みを犯した」

「僕」の心情  
だれかの足音で、自分は盗みをした下劣なやつだと気付き、怖くなったんだ。盗むつもりなんかなかったのに欲望に負けてしまった。しかも、クジャクヤママユをつぶしてしまった。どんなことでもするから元にもどってほしい。

宝  
斑点が僕を見つめた  
擬人法

獲物  
気持ちによってクジャクヤママユの呼び名が変わる

大きな満足感

「僕」の心情の変化を矢印や線で表します。  
「大きな満足感」を感情の高まりの頂点とします。  
宝を手に入れるまでの気持ちの高まり、盗みをしたことを自覚したあとの不安や恐れ、後悔などの心情を矢印と線で表すように指示します。  
書き込みは生徒に任せ、盗みを自覚したあと、下降していく気持ちを図式化できていればよしとする。